

優秀賞

やらなければならないこと

地島小学校5年 山本 大晴

「あぶない」

三年前、学校の登校中のことです。今まで見たことのないスピードで車が走って来た。信号をわたろうとしている友達。信号は赤、車は止まるようすもなく走っている。友達は気づいていません。車はもうすぐ横だん歩道。このままだとぶつかってしまう。その時、ぼくが言った一言だった。

その友達はパッとふり向きました。その子の後ろにはあの車が走って来ました。後一歩でぶつかっていました。友達はあの車に気づきました。えっ。と、びっくりした表じょうでぼくを見えています。その時ぼくはほっとしていました。あの状態で友達がぶつかってしまっていたら、そうぞうしただけでゾッとします。この後は、友達といっしょに登校できました。

ぼくは、スピードい反などの悪いことをする人たちに伝えたいことがあります。それは、「心によゆうをもつこと」です。だれでも急ぎたい時はあります。だったらその前に、急がないといけない理由を作らなければいいのです。それはだれだっていっしょです。一人一人が気をつければ、事故がだんだんへっていつかはなくなります。事故のない未来のためにやらなければならないことがあります。それは、「心によゆうをもつこと」です。みんな安全な未来に向かってがんばりましょう。